

Сайн байцгана уу ?

(皆さん こんにちは ?)

またまた通信が途絶えていて、すみませんでした。新年も明け、ここモンゴルに来てから1年が経ちました。最低気温はマイナス10℃を上回るようになり、最高気温は0℃を超える日が続いています。日本からすると激寒すぎなんだろうが、こちらの感覚では完全に春です。さて、今回は2つのことを話します。

1, 教えあう授業 『御上先生』というドラマが最近ありましたね。

この中で、“考える”大切さを説いていました。学習の定着は、繰り返すことも重要ですが、一番効果的なことが人に教えるということだそうです。

11月のある日、私が12年生の物理の授業見学をしていました。あいにくモンゴル人の担当教師が欠席で自習でした。私が隣の席の男子生徒のノートをペラペラとめくり、ある項目に目が留まりました。宇宙第2速度なんですけど、これは理解するのがちょっと難しいのです。

そこで、私が彼に『この宇宙第2速度を理解していますか?』と聞くと、『解らない!』というので、私が教えてあげました。

これは、多分他の生徒も理解していないかな?と思い今度は右側にいた女子生徒に訊ねてみると彼女たちも理解できない!というので、ここは私ではなく、先ほどの男子生徒に

『女子生徒に教えてみないかい?』といい、男子生徒が女子生徒3人に教え始めました。(1つ目の写真)

やはりクラスの生徒たちもきっと理解していないだろうと確信を持ち、今度はその3人の女子生徒に、『クラスの仲間に教えてみないかい?』といい、彼女たち3人が教壇で教えているのが2つ目の写真です。



右の男子生徒が女子生徒に教えている



女子3人がクラス全員に教えている

2, 普通と当たり前

日本での語学訓練を同じくした同期隊員とは

時々会い、活動での出来事や悩み事などを話し合うことが多いのですが、障がい児・者支援の活動をする仲間の活動の話しから、同じく同期で空手隊員の仲間が、障がい者って健常者と区別しているけど、『そもそも健常者イコール普通?』ところで普通って何?』という話になりました。

約束を守るのは当たり前だ、約束した時間の5分前に来るのが普通だ!とか、ゴミを捨てないとか例を挙げるときりがありません。今あげた3つの例、モンゴルでは当たり前ではないんです。モンゴルだけではなく、発展途上国のみならず、先進国でも例えばゴミ・・・と気になったのWebで調べてみると、以下のような感じでした。



モンゴルの草原にあるゴミ

ゴミ排出量の多い国は、1位が中国、2位はインド、3位はアメリカ、日本は8位という結果でした。しかし、人口に対するゴミの排出量をみると、アメリカが突出してワースト1位です。アメリカの人口はインドの4分の1程度ですが、ゴミの排出量はほとんど変わりません。

しかし、皆さんこんなことご存じですか? 餓えと争いをなくすため、砂漠をゴミで緑化する。

現地での作業は、フェンスで囲った荒廃地に都市から運んできた家庭ゴミを撒き、上から砂をかぶせる。ゴミは分解されて養分となり、ゴミの中に含まれている様々な植物の種子も発芽する。雨季になると、みるみるうちに植物が生い茂ってくるという。⇒今やニジェールでは都市のゴミを使った緑化は当たり前、だそうです。

同じような価値観で生活していると、普通とか当たり前としていることも、価値観の異なる国だとそうではないこと、また、同じ国ではあってもその価値観は変化していき、今まで普通であったことが普通でなくなり、当たり前と思っていたことが当たり前ではなくなることもあるんだということ。皆さんも、考えてみませんか?

次号を乞うご期待下さい、北澤でした。